

第2章 盛岡市の緑の現況

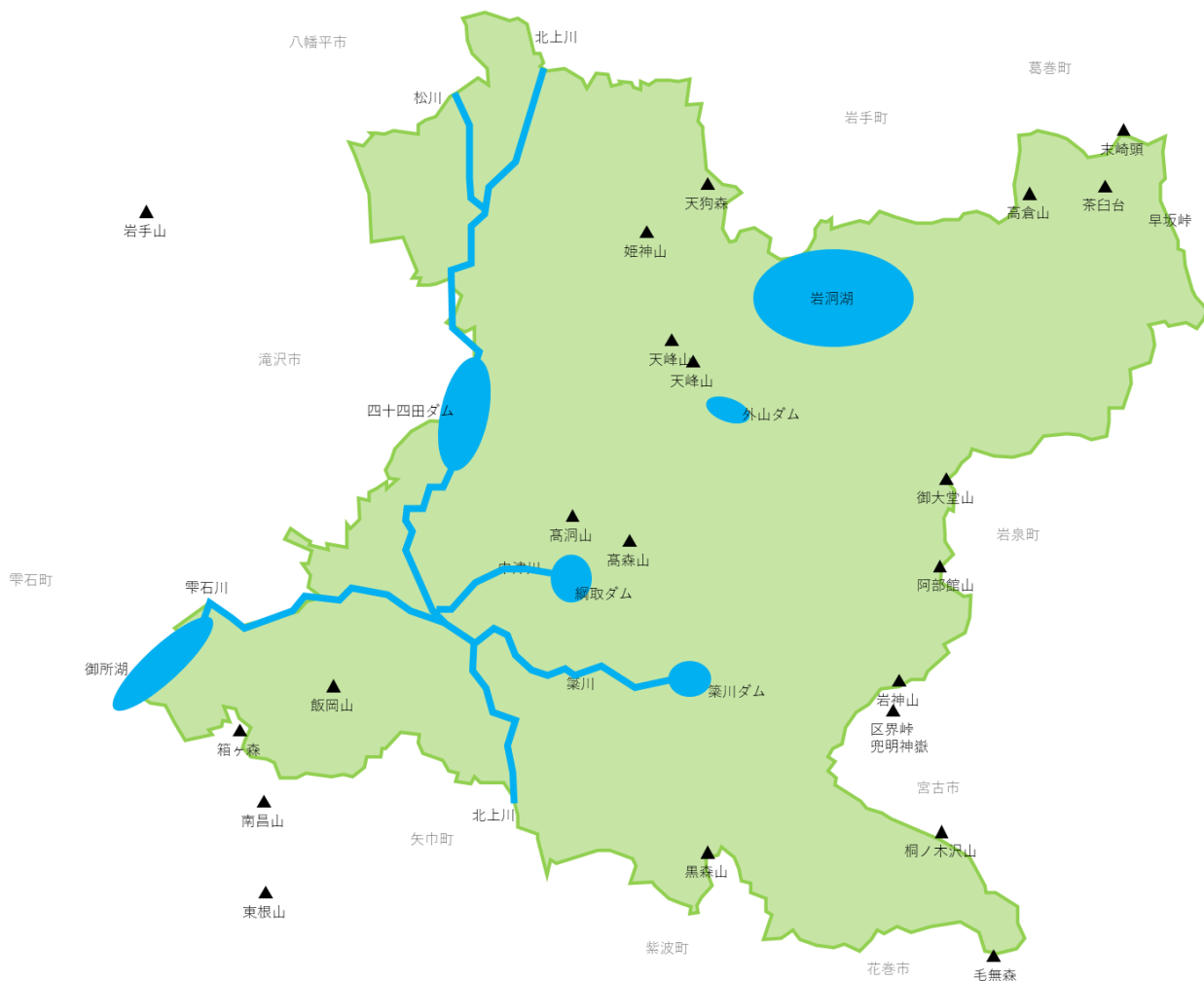
第2章 盛岡市の緑の現況

第1節 盛岡市の概要

(1) 位置・地形・地質

本市は、岩手県のほぼ中央に位置し、東西は約 45.5km、南北は約 40.7km にわたり、最高点は市域の南東部に位置する早池峰山に連なる毛無森(けなしもり)の標高 1,427.2m、最低点は北上川流域乙部の標高 99m で、総面積は 88,647ha です。

奥羽山脈と北上高地の間を北上川本流が北から南へ流れ、西方の奥羽山脈から松川、雫石川、東方の北上高地から中津川、築川(やながわ)などがそれに合流しています。ダム湖などの静水域も多く、水質も良好で水量も豊富です。中央の平坦な河岸段丘(かがんだんきゅう)に本市の中心部が形成されています。北上川西岸部は、北上川と雫石川によって形成された沖積平野(ちゅうせきへいや)で、田園地帯が広がっています。また、北上川の東部は北上高地に続く起伏の多い丘陵地帯で、姫神山を前衛に、その奥地に市域の境界を成す毛無森、阿部館山(あべたてやま)、茶臼台(ちやうすだい)などの 1,000m を超える山々が連なっています。

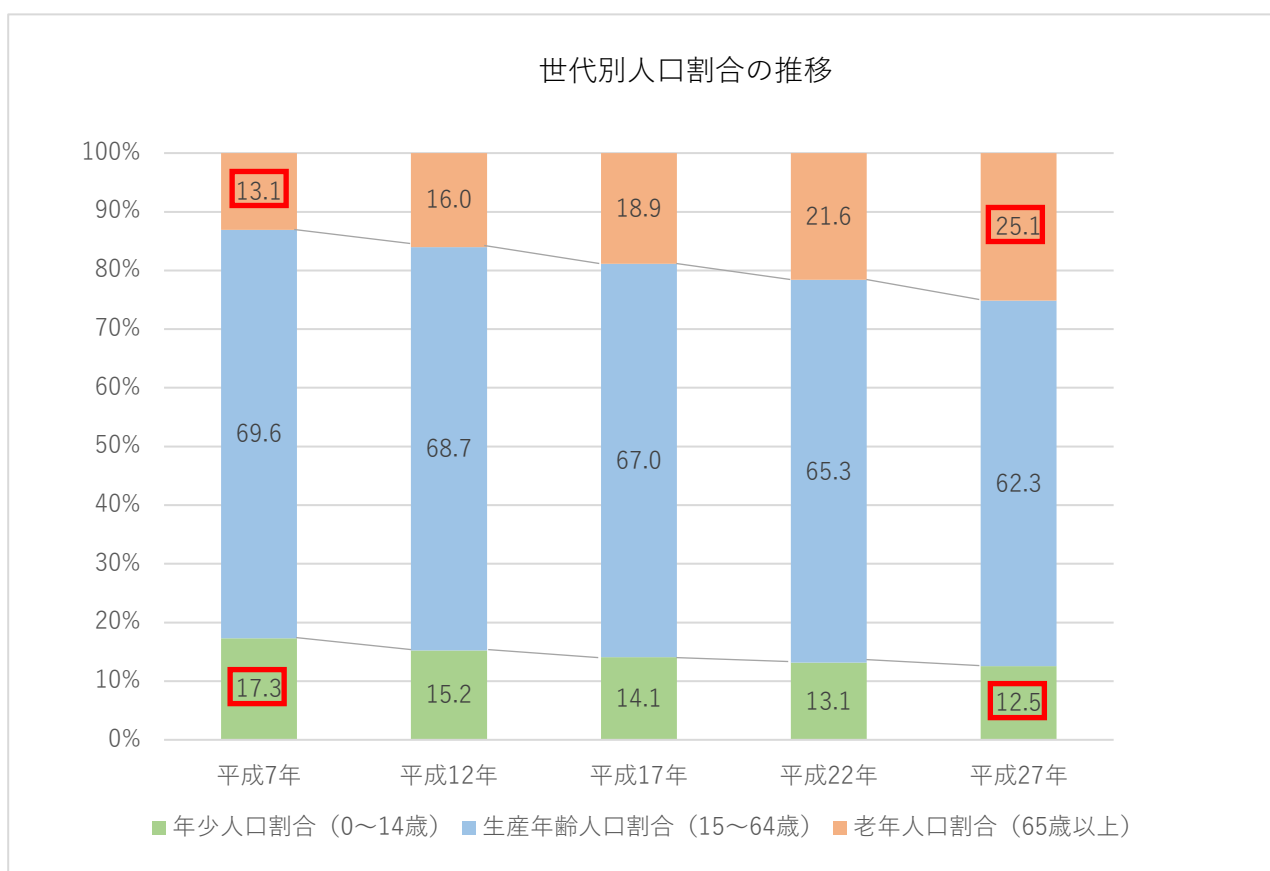


（２）盛岡市の人口

本市の総人口は、2000（平成 12）年の 302,857 人をピークに減少しており、2015（平成 27）年には 297,631 人となっています。今後も人口減少が進むと予想されています。

年齢 3 区分別人口割合の推移は、年少人口割合（0～14 歳）が 1995（平成 7）年から 2015（平成 27）年で 4.8%減少している一方、老年人口割合（65 歳以上）は 12.0%増加しており、少子高齢化が進行しています。

	1995 (平成 7) 年	2000 (平成 12) 年	2005 (平成 17) 年	2010 (平成 22) 年	2015 (平成 27) 年
人口(人)	300,723	302,857	300,746	298,348	297,631
増減	—	2,134	△2,111	△2,398	△717
増加率(%)	—	0.7	△0.7	△0.8	△0.2



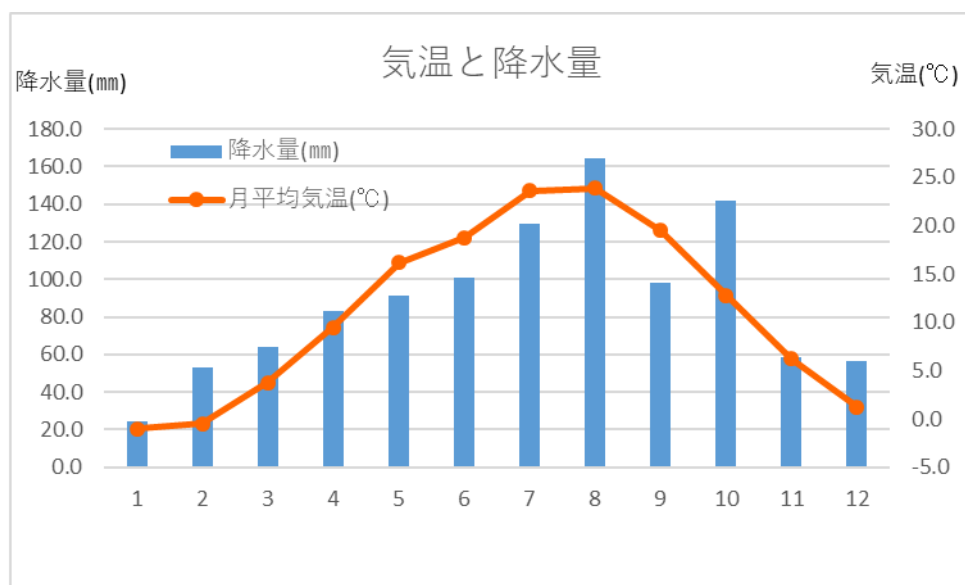
資料：平成 27 年国勢調査

第2章 盛岡市の緑の現況

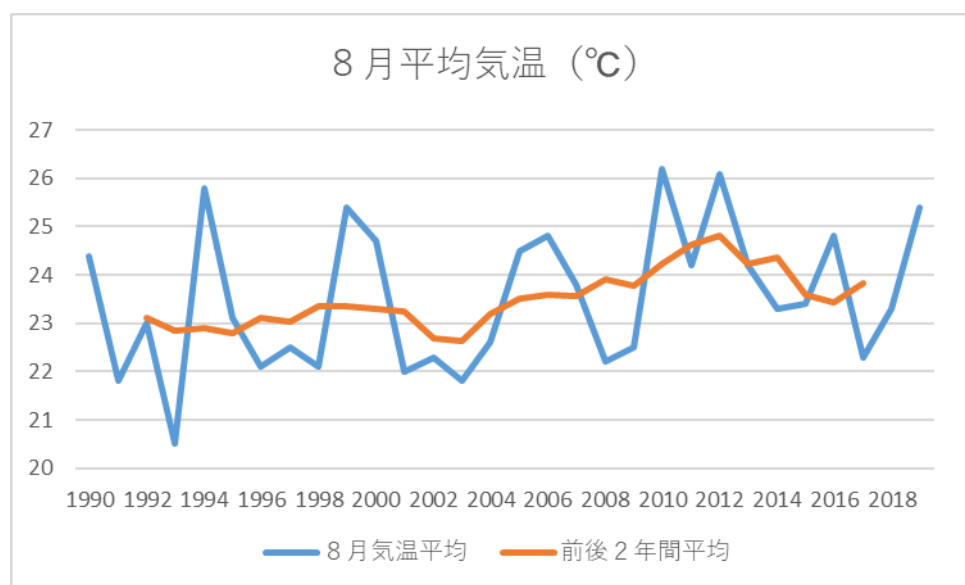
(3) 気象

本市の気象は、奥羽山脈と北上高地に挟まれた盆地地形の影響により、寒暖の差が激しい典型的な内陸性の気候です。2015（平成27）年から2019（令和元）年における平均気温は、11.1度であり、年間降水量は約1,060mmです。降水量は、月平均気温が最も高い8月や台風が多い10月に集中するのが特徴です。

8月の平均気温は、2019（令和元）年で25.4度であり、気象庁の観測記録をみると、近年、上昇傾向にあります。



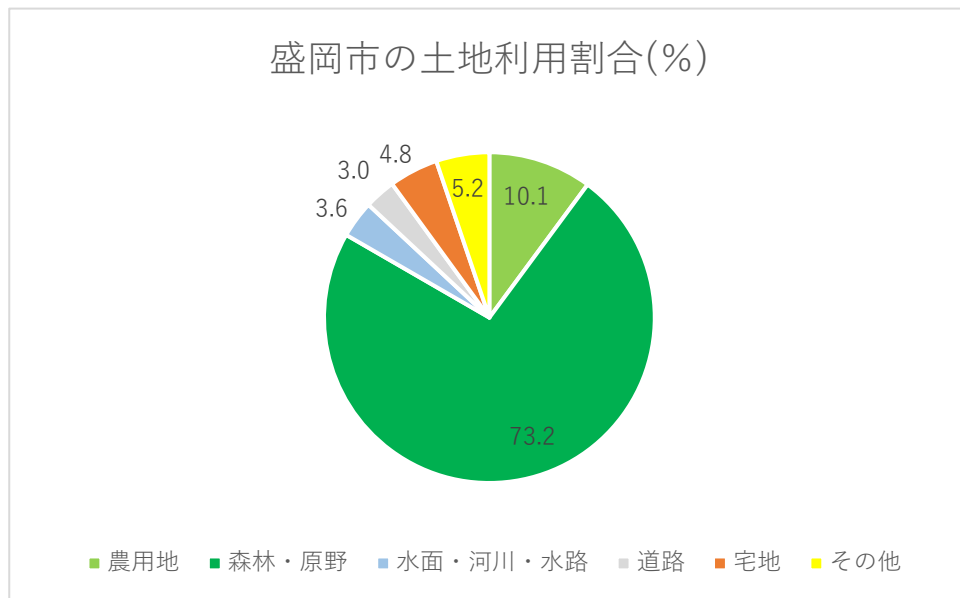
資料：気象庁データ（2015年～2019年）平均



資料：気象庁データ

(4) 土地利用

本市の土地利用の状況は、2015（平成 27）年で農用地が 10.1％，森林・原野が 73.2％，水面・河川・水路が 3.6％，道路が 3.0％，宅地が 4.8％，その他が 5.2％となっています。



資料：土地利用推移データ

第2章 盛岡市の緑の現況

第2節 緑の状況

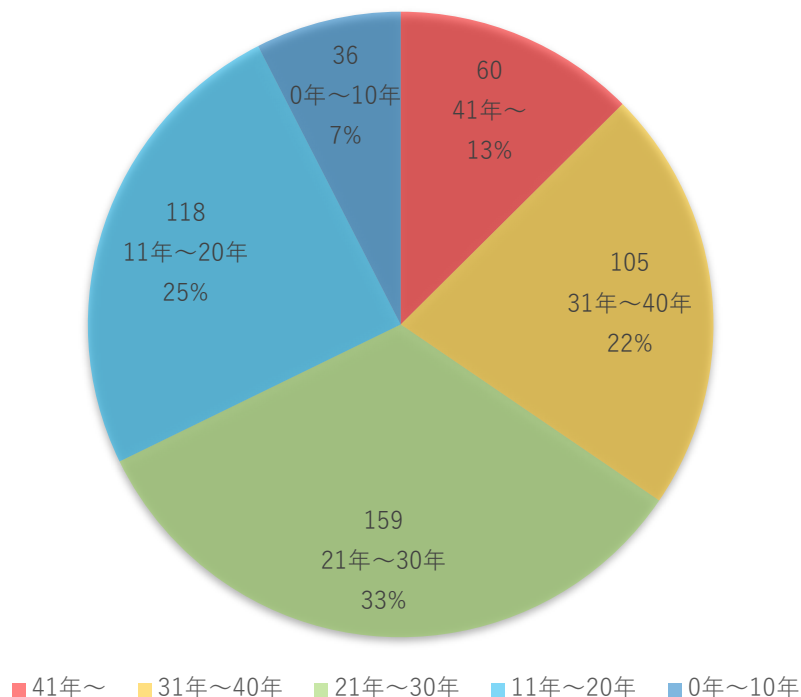
(1) 公園施設

公園や緑地など緑の整備が進み、都市公園数が増加しています。また、数値目標として
いる一人当たりの都市公園等の面積については目標の 12.0 m²/人を達成しています。し
かし、遊具の危険判定の結果、施設の老朽化により、計画的な修繕が必要な公園施設が増
加傾向にあります。整備が完了してから 30 年以上経過している公園が全体の約 3 分の 1
を占めていることから、今後老朽化により遊具のみではなくベンチやフェンスなどの公
園施設の維持管理の負担が増加することが予想されます。

・都市公園等の整備箇所数（新庄墓園、盛岡駅西口広場含む）

	計画策定当初 2000 （平成 12）年度末	中間改訂 2009 （平成 21）年度末	実績 2019 （令和元）年度末
都市公園等の 整備箇所数	368 箇所	450 箇所	478 箇所
一人当たりの 都市公園等面積	9.2 m ² /人	10.7 m ² /人	12.1 m ² /人

設置年別の都市公園等の割合（2020）



（２）大規模な公園の整備

高松公園や中央公園など本市の象徴となる大規模な総合公園の整備を行っています。今後も憩いや賑わいの拠点として様々な機能の強化が求められます。



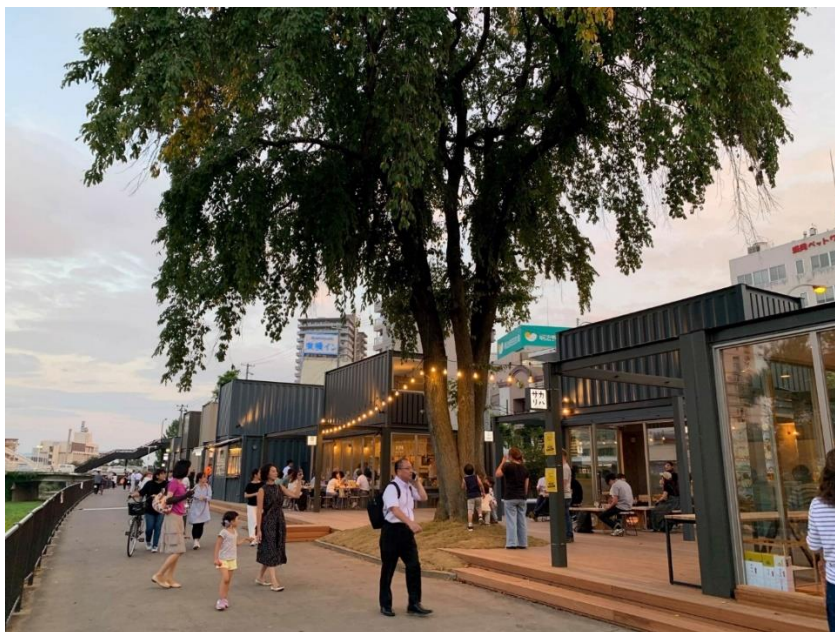
高松公園



中央公園

（３）「公募設置管理制度（Park-PFI）」の活用による整備

2017（平成 29）年の都市公園法改正によって制度化された Park-PFI を活用し地域の課題の解決や魅力的な公園の整備に取り組んでいます。盛岡駅前通の「木伏緑地」は 2019（令和元）年 9 月に供用を開始しています。また、「盛岡城跡公園芝生広場」と「中央公園」についても引き続き計画を進めています。



2019 年（令和元年）9 月にオープンした木伏緑地

第2章 盛岡市の緑の現況

（４）未開設公園

開発行為などにより公園のための用地を確保しているものの、整備費の確保が厳しい状況から、長期的に未開設となっている公園が27箇所あります。遊休化しているこれらの土地をどのように整備・利用するか課題となっています。



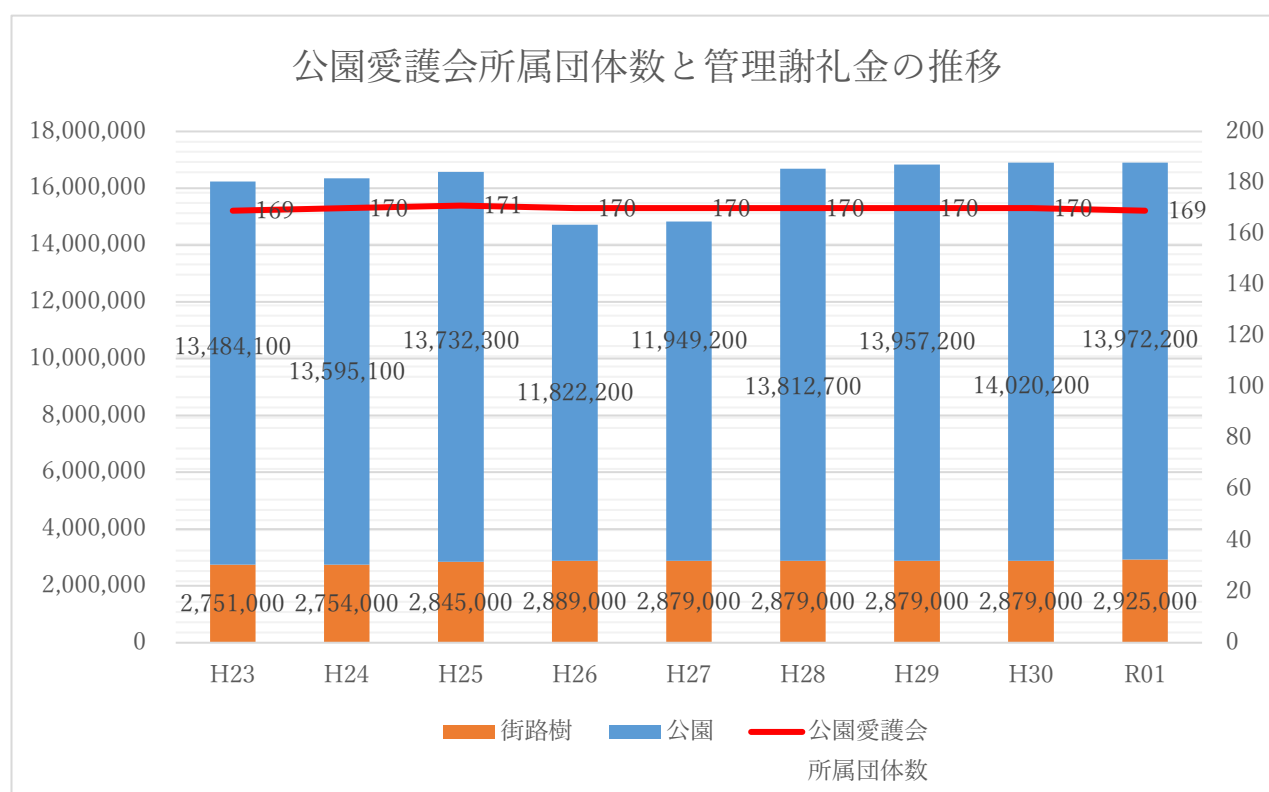
南青山



湯沢

（５）公園愛護会

公園の維持管理を行っている公園愛護会の所属団体数や管理謝礼金がほぼ横ばいで推移しています。しかし、活動人員の減少や高齢化による負担の増加により、現在の仕組みのまま公園の維持管理を行っていくのが厳しい状況となっています。



（６）公園の利活用の促進

市民が公園の利活用について考え、実際にイベントなどを実施できるよう規制を緩和したりする「もりおか公園活性化交流広場」や「公園活性化プラン」、「もりおか park talk」などの取り組みを行っています。

「もりおか公園活性化交流広場」では公園の利活用について考えるワークショップや、それをふまえたイベントなどの企画・実施までを市民やNPO 法人の方と協力して行っています。通常、「都市公園で何かをしたい！」と考えても、都市公園条例の規制がかかってしましますが、この「もりおか公園活性化交流広場」で実施するイベントなどにおいては、市の事業の一環として、規制緩和を行っています。

「公園活性化プラン」では、市民や事業者の皆さんで実施できる「やってみたい」「できたらいいな」というプランを募集し、公園の貸出を行っています。基本的なイベントの運営、実施の費用などは応募者の負担となりますが、採用されれば実際にプランを実施することが可能です。

「もりおか park talk」では、公園などを活用した面白い活動をしていく上で、ヒントとなるような話を様々な分野の方から聞いたり、「公園を活用したい」という方同士で交流することが可能です。



にゃんと！？ワンだふる会（もりおか公園活性化交流広場）



クラフトパークたかまつ（公園活性化プラン）

用語解説

※もりおか park talk（→P91）,



もりおか park talk

第2章 盛岡市の緑の現況

（7）街路樹

地域住民の意見を取り入れながら、街路樹や植樹柵などを設置することにより地域の特性に応じた緑豊かな道路を創出してきました。

しかし、近年、植樹してから月日が経過し、大木となった街路樹や老木となり枯れた街路樹が増えています。その結果、車両運転手の視界を妨げたり、激甚化する災害により木が倒れたりするなど、市民に危険を及ぼす街路樹が増えています。

今後、街路樹の維持管理に係る予算の確保が厳しい状況のなかで、どのように適正な維持管理を行っていくかが課題となっています。



（8）貴重な緑の保全

緑は、良好な景観の維持に役立っています。今後も風致地区内の行為規制や景観重要樹木の維持管理により盛岡市の貴重な緑を保全します。



上の橋際のイチョウ

（９）ハンギングバスケット

本市が姉妹都市として交流を進めているカナダのビクトリア市は、花の街として世界的に有名です。そこで盛岡市においても、ビクトリア市のハンギングバスケットといった文化を取り入れ、色彩豊かな花による市街地の美化を通じて、商店街の活性化や観光客の誘致を図るとともに、盛岡らしい緑の文化として醸成し、全国に発信するため、2004（平成16）年度からハンギングバスケットを軸とした市民、事業者、行政の協働による「花と緑のガーデン都市づくり事業」に取り組んでいます。

事業を開始した2004（平成16）年度の334個から年々数を増やし、2015（平成27）年度実施の地方行財政調査会の調査では全国一位（772個）になるなど盛岡市の良好な景観形成において重要な役割を担っています。

しかし、維持管理の難しさや高齢化により、ハンギングバスケットの管理者によっては水やり等に苦労しています。また、事業開始当初から使用している水やり機器等は、老朽化により故障が頻発していることから、設備の更新が必要となっています。

ハンギングバスケット設置総数の推移									
2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
738	758	773	779	772	789	773	736	726	464

盛岡市内のハンギングバスケット



第2章 盛岡市の緑の現況

第3節 他計画による緑の位置付け

(1) 特徴的な緑

緑の機能を環境保全、レクリエーション、景観形成、防災の4つに分類して、盛岡の特徴的な緑をまとめます。

(1-1) 環境保全機能のための緑

① 市の骨格を形成する緑

本市は、市街地を囲むように西に岩手山を含む奥羽山脈、東に姫神山を含む北上高地があり、市域を南北に貫流する北上川と西方の奥羽山脈からは松川、雫石川、東方の北上高地からは中津川、築川などの河川が市街地で合流しています。また、河川の上流にはダム湖があり、潤いのある環境を形成しています。

骨格的な緑	東西丘陵地、東部森林緑地
市を代表する水辺	北上川、雫石川、中津川、築川、松川、高松ノ池、四十四田ダム、御所湖、綱取ダム、外山ダム、築川ダム、岩洞湖

② 市街地の生活環境を保全する緑

本市の市街地は、丘陵地や田園、試験研究機関などの緑に囲まれているほか、市街地内を北上川や中津川などの河川が貫流しており、多様で豊かな緑に恵まれています。また、身近な公園としての住区基幹公園や都市緑地、緑化された道路などが生活環境に潤いを与えています。

市街地を取り囲む緑	東西丘陵地、田園緑地、東北農業研究センター、家畜改良センター岩手牧場
市街地を流れる河川など	北上川、雫石川、中津川、築川、松川、高松ノ池
市街地にある大規模な公園	盛岡城跡公園（岩手公園）、中央公園、県営運動公園、高松公園、愛宕山記念公園、湯沢中央公園、都南中央公園、盛岡南地区公園
歩いて行ける身近な公園緑地など	住区基幹公園（地区公園、近隣公園、街区公園）、都市緑地、グリーンプロット、広場
緑化された道路	みたけ緑道、街路樹のある道路

③ 生物の生息・生育空間を保全する緑

東部森林緑地、四十四田ダム周辺、雫石川河川敷などの緑は、野生動植物種の保全上重要な地域として位置付けられており、多様な動植物の生息・生育空間として機能しています。また、市街地に点在するまとまった緑などは、環境保護地区に指定されており、市街地における生物の生息・生育空間として重要な役割を担っています。

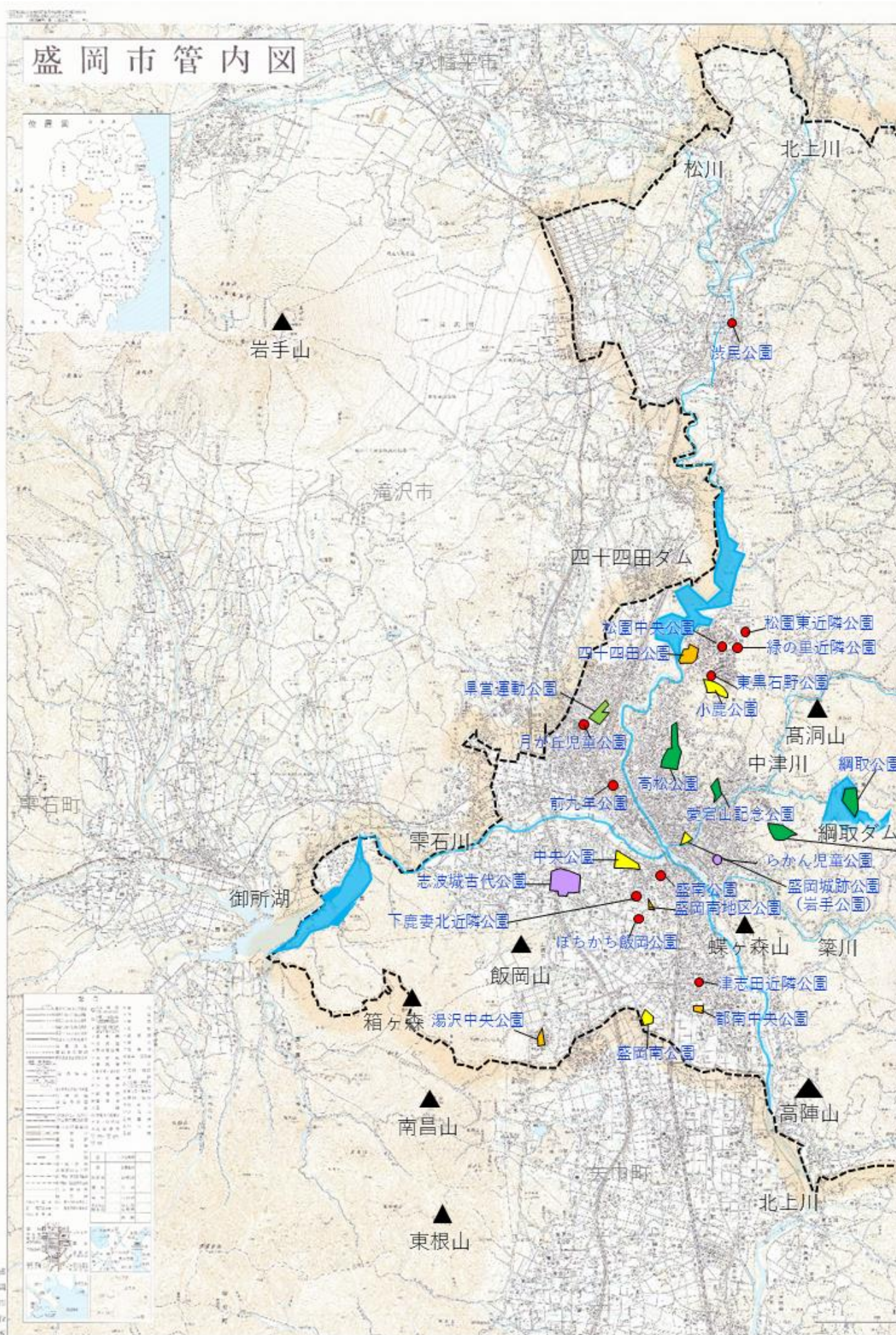
野生動植物の保全上重要な緑	東部森林緑地、雫石川、四十四田ダムなど、
市街地を取り囲む緑	東西丘陵地、田園緑地、東北農業研究センター、家畜改良センター岩手牧場
市街地に点在するまとまった緑	みょうぜんじ 妙泉寺地区、じゃのしま 蛇ノ島地区、さんまばし 三馬橋地区など

④ 歴史・風土環境を保全する緑

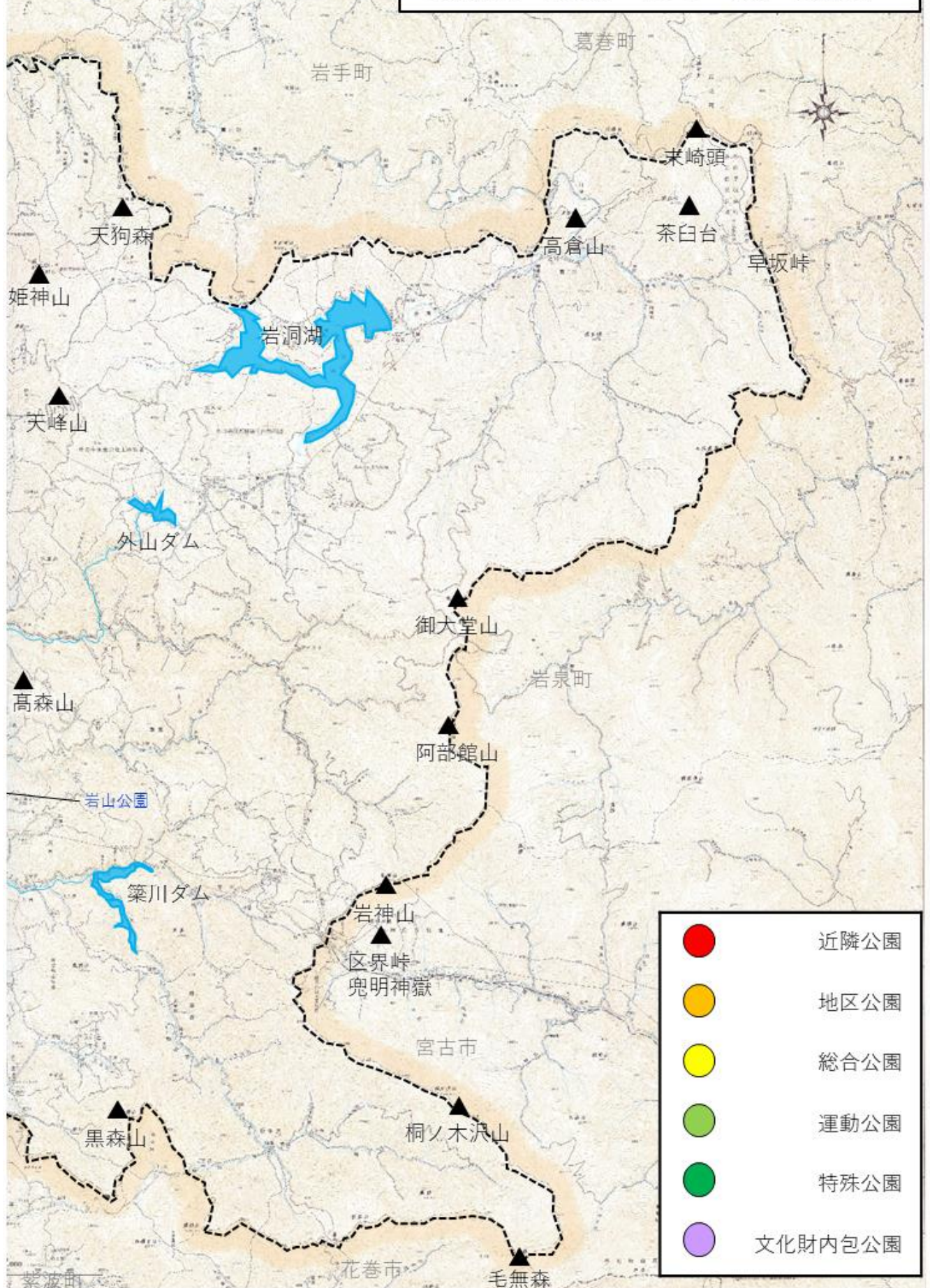
本市の市街地は、藩政時代からの城下町の佇まいを残しており、城郭跡や社寺林などの緑地的機能を有する歴史的・文化的資源が多く残されています。また、市街地を取り囲む丘陵地や田園の緑は、本市の地域風土の形成に重要な役割を果たしています。

指定文化財を内包する公園	盛岡城跡公園（岩手公園）、しわじょう 志波城 古代公園、らんかん 児童公園
歴史性のある緑	盛岡城跡公園（岩手公園）、高松公園、岩山公園、盛岡八幡宮、天満宮、住吉神社など寺社境内地、一里塚、保護庭園など
市を代表する先人の歴史を持つ緑	岩手大学農学部、盛岡城跡公園（岩手公園）、清養院、徳玄寺、中津川、天満宮、渋民公園、きつぷし 木伏緑地、常光寺、宝徳寺、石川啄木記念館、岩山公園、川崎緑地、渋民緑地（愛宕の森）、よふけもり 夜更森緑地、原敬記念館、大慈寺、円光寺、盛岡八幡宮、ビクトリアロード（にとべ 新渡戸緑地）など
市街地を取り囲む緑	東西丘陵地、田園緑地、東北農業研究センター、家畜改良センター岩手牧場

A map of China with the Xinjiang region highlighted in orange in the northwest. The map includes labels for major cities and provinces in Chinese.



環境保全機能のための緑（現況）



第2章 盛岡市の緑の現況

(1-2) レクリエーション機能のための緑

① 日常的なレクリエーションの場となる緑

住区基幹公園は、市街地における身近な公園として日常的なレクリエーションなどのために整備されています。また、市街地内を流れる河川の河川敷には公園をはじめ、散策路やグラウンドなどがあり、日常的なレクリエーションに利用されています。

市街地における身近な公園	住区基幹公園（地区公園，近隣公園，街区公園）
市街地を流れる河川など	北上川，雫石川，中津川，築川，松川，高松ノ池
田園地域における身近な公園	農村公園

② 自然とのふれあいの場となる緑

東西森林緑地には、森林公園や自然公園が整備されており、自然体験や学習の場として活用されているほか、ダム湖周辺の緑は自然に囲まれたレクリエーションの場として、市民に親しまれています。また、市街地周辺の自然が豊かな公園は、身近な自然とのふれあいの場として整備されています。

森林の緑	外山森林公園，都南つどいの森，平成市民の森，外山早坂高原県立自然公園（岩洞湖家族旅行村，姫神山）
市街地を取り囲む緑	東西丘陵地，田園緑地
市街地周辺の自然が豊かな公園	岩山公園，小鹿公園，四十四田公園，岩山南公園（盛岡市動物公園）
市街地にある大規模な公園	盛岡城跡公園（岩手公園），中央公園，県営運動公園，高松公園，愛宕山記念公園，湯沢中央公園，都南中央公園，盛岡南地区公園
市街地を流れる河川などの水辺	北上川，中津川，雫石川，築川，松川，高松ノ池
ダム湖周辺	御所湖，四十四田ダム，綱取ダム，外山ダム，築川ダム，岩洞湖

③ スポーツレクリエーションのための緑

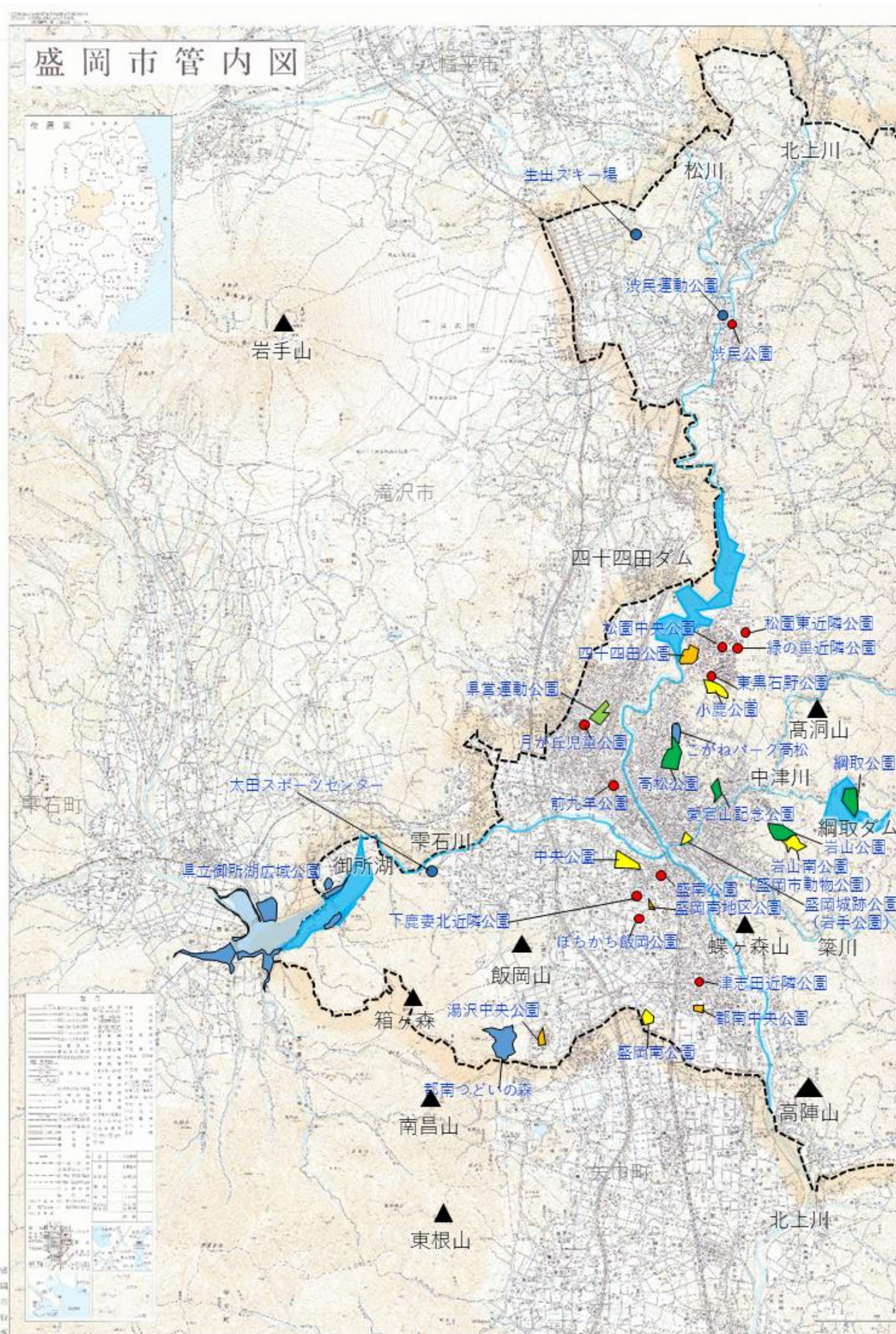
各種スポーツに対応できる公園が，盛岡地区，都南地区，玉山地区にそれぞれ整備されています。また，ダム湖周辺には，スポーツレクリエーションのためのグラウンドなどを備えている公園などが整備されています。

運動施設を備えた公園など	県営運動公園，盛岡南公園，県立御所湖広域公園，太田スポーツセンター，渋民運動公園，こがねパーク高松など
--------------	---

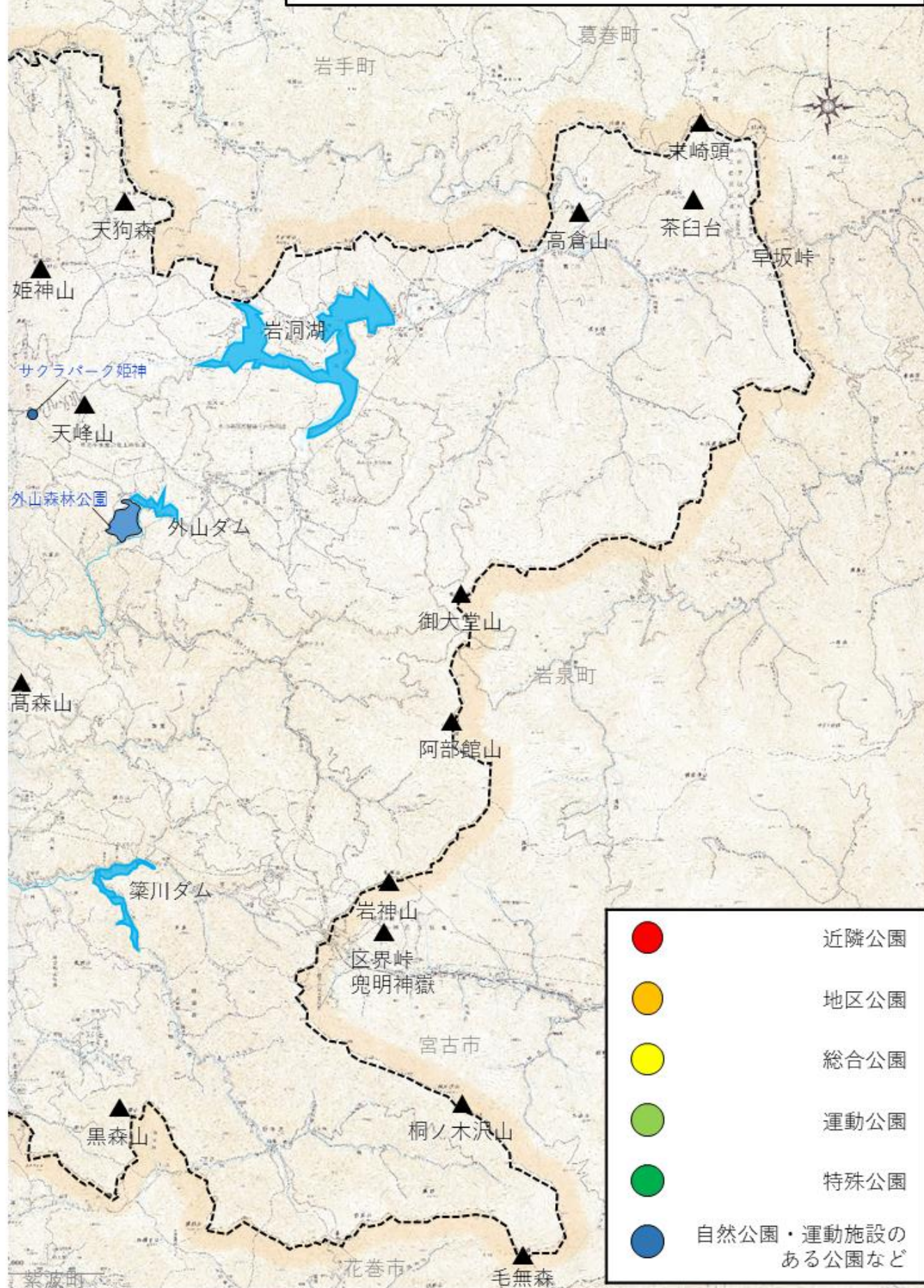
④ 様々なレクリエーションのための緑

国指定史跡を広域的な観光レクリエーションのための公園として整備した盛岡城跡公園（岩手公園）や志波城古代公園をはじめ，お花見など古くから市民の行楽地として親しまれている公園や美術館，動物園などが設置されている公園など，様々なレクリエーションニーズに対応する緑があります。

お花見や動物園などを楽しめる公園など	盛岡城跡公園（岩手公園），志波城古代公園，らんかん児童公園，高松公園，米内浄水場，中央公園，県立御所湖広域公園，岩山公園，岩山南公園（盛岡市動物公園），小鹿公園，太田スポーツセンター，渋民公園，生出スキー場 ^{おいで} ，サクラパーク姫神，近郊自然歩道など
--------------------	---



レクリエーション機能のための緑（現況）



第2章 盛岡市の緑の現況

(1-3) 景観形成機能のための緑

① 市の自然景観の骨格を形成する緑

市街地のほぼ中心部を河川が流れており、河川の水と緑が都市に潤いと優しさを醸し出しており、盛岡の代表的な景観となっています。また、岩山や愛宕山をはじめ東西丘陵地に広がる緑豊かな自然景観は、まちに四季の変化を感じさせ、落ち着きと心休まる風景を醸し出しているほか、東部森林緑地にある岩洞湖や外山ダム周辺の潤いのある水辺空間は、雄大で良好な自然景観を創出しています。

骨格的な緑	東西丘陵地、東部森林緑地
本市を代表する水辺	北上川、雫石川、中津川、築川、松川、高松ノ池、四十四田ダム、御所湖、綱取ダム、外山ダム、築川ダム、岩洞湖

② 良好な視点場を有する緑

岩手山や姫神山の眺望は、本市を代表する特徴的な景観として重要であると位置付けられており、市内にはそれらを眺望できる良好な視点場となる公園緑地などが存在するほか、市街地における河川敷の緑は、遠景の山並みを見通す景観軸としての役割も担っています。また、市街地周辺の丘陵地には、市街地を一望できる良好な視点場を有する緑が存在しています。

岩手山を眺望する視点場を有する公園など	盛岡城跡公園（岩手公園）、北上川（開運橋）、 てんほうざん 天峰山、渋民公園、渋民緑地（愛宕山）、岩洞湖
なんしょうざん 南昌山を眺望する視点場を有する公園	盛岡城跡公園（岩手公園）
愛宕山を眺望する視点場を有する緑	中津川（与の字橋）
姫神山を眺望する視点場を有する緑地など	夜更森緑地、川崎緑地、岩洞湖、渋民公園
遠景を見通す景観軸となる河川	北上川、雫石川、中津川
市街地を一望できる良好な視点場を有する公園など	岩山公園、愛宕山記念公園、中央公園、蝶ヶ森山、飯岡山、 たかしんやま 高陣山、夜更森緑地、姫神山、天峰山

③ 歴史・風土景観を形成する緑

市街地中心部にある盛岡城跡公園（岩手公園）は、本市の歴史的景観のシンボルとしての役割を果たしているほか、市街地に点在する社寺林も、本市の歴史を感じさせる景観として重要な役割を担っています。また、市街地を取り囲む丘陵地や田園の緑は、里山として本市の風土景観を構成する重要な緑と考えられます。

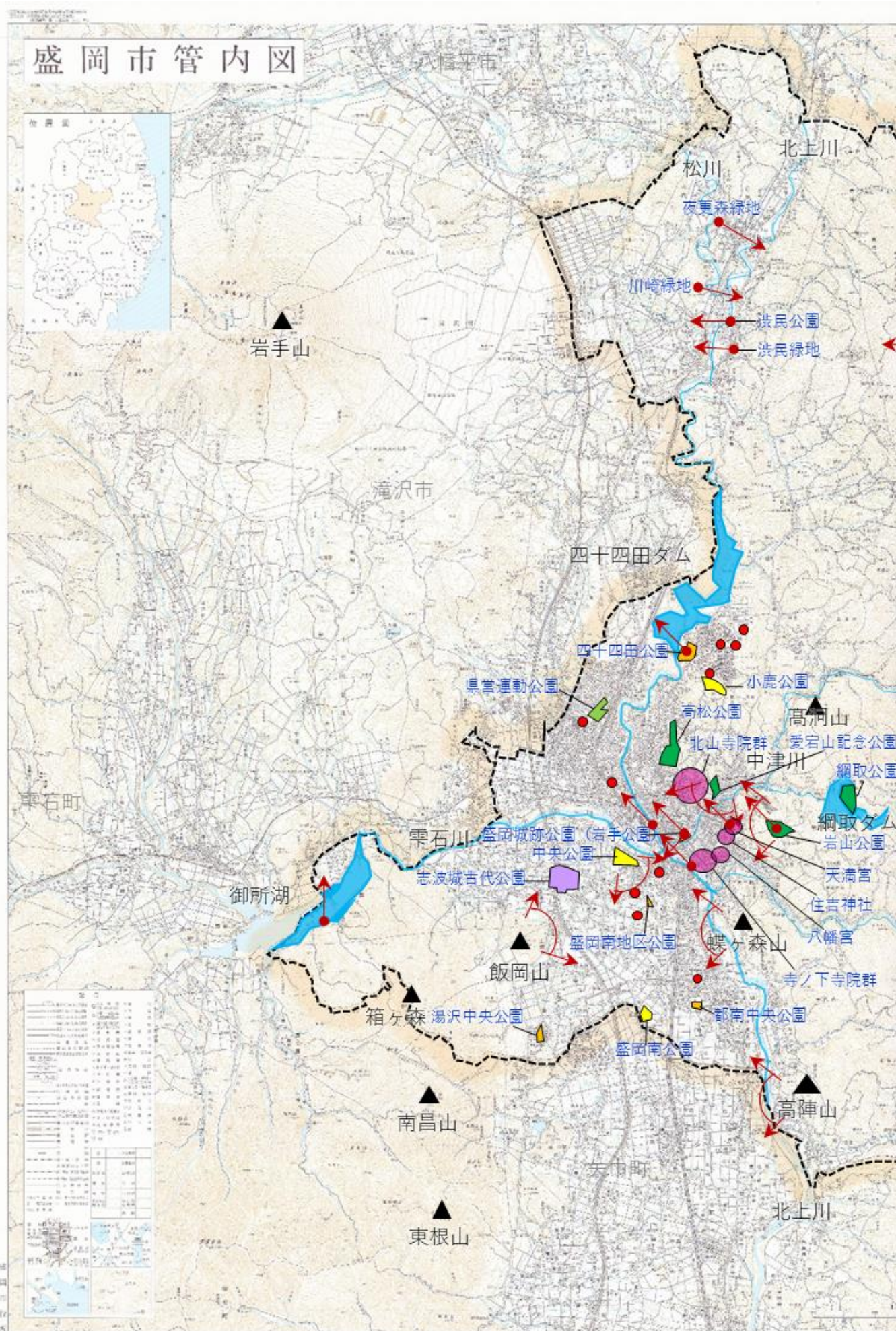
歴史的景観のシンボルとなる公園	盛岡城跡公園（岩手公園）
歴史を感じさせる寺社境内地や保護庭園	八幡宮，天満宮，北山寺院群，寺ノ下寺院群，住吉神社， ^{ししやうえん} 賜松園，一ノ倉邸，南昌荘など
周囲の田園風景とともに歴史・風土景観を構成する公園	志波城古代公園
市街地を取り囲む緑	東西丘陵地，田園緑地

④ 良好な市街地景観を形成する緑

市街地を流れる河川は、都市空間の中に自然や季節感を持ち込み、市街地景観に潤いを与える緑地として重要です。また、市街地周辺の風致を活かした公園や市街地内の公園緑地、緑化された道路などは良好な市街地景観の形成に寄与しており、潤いとやすらぎを与える緑となっています。

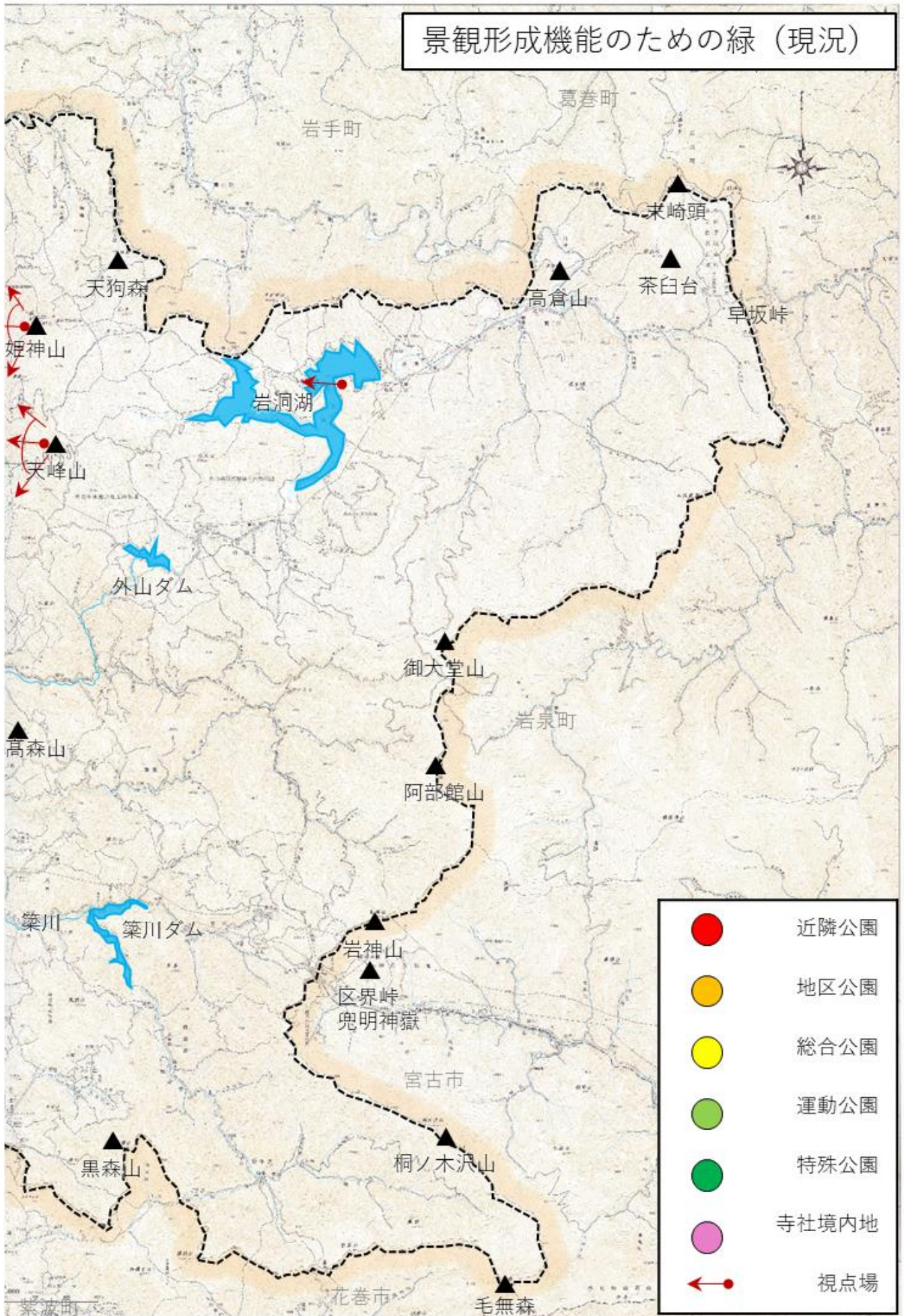
風致を活かした公園など	岩山公園，高松公園，愛宕山記念公園，洪民緑地（愛宕の森），夜更森緑地，野中森，川崎森
市街地にある大規模な公園	盛岡城跡公園（岩手公園），中央公園， 県営運動公園，高松公園，愛宕山記念公園，湯沢中央公園，都南中央公園， 盛岡南地区公園
風致地区や環境保護地区	高松風致地区，山王風致地区，中津川地区，愛宕山地区など
景観重要樹木	天昌寺のスギ，夕顔瀬堂の前のケヤキ，裁判所のモミなど
市街地を流れる河川など	北上川，中津川，雫石川，築川，松川，高松ノ池
市街地における身近な公園など	住区基幹公園（地区公園，近隣公園，街区公園， 幼児公園），都市緑地，グリーンプロット，広場
緑化された道路	みたけ緑道，街路樹のある道路

盛岡市管内図



盛岡市管内図	
盛岡市	1:50,000
滝沢市	1:50,000
八幡平市	1:50,000
岩手山	1:50,000
飯岡山	1:50,000
高陣山	1:50,000
高河山	1:50,000
高松山	1:50,000
高根山	1:50,000
南昌山	1:50,000
蝶ヶ森山	1:50,000
御所湖	1:50,000
網取ダム	1:50,000
四十四田ダム	1:50,000
栗石川	1:50,000
志波川	1:50,000
松川	1:50,000
北上川	1:50,000
中津川	1:50,000
夜更森緑地	1:50,000
川崎緑地	1:50,000
洪民公園	1:50,000
洪民緑地	1:50,000
四十四田公園	1:50,000
小鹿公園	1:50,000
高松公園	1:50,000
北山寺院群	1:50,000
夢宕山記念公園	1:50,000
網取公園	1:50,000
岩山公園	1:50,000
天清宮	1:50,000
住吉神社	1:50,000
八幡宮	1:50,000
寺ノ下寺院群	1:50,000
盛岡南地区公園	1:50,000
盛岡城跡公園 (岩手公園)	1:50,000
中央公園	1:50,000
志波城古代公園	1:50,000
盛岡運動公園	1:50,000
飯岡山	1:50,000
湯沢中央公園	1:50,000
箱ヶ森	1:50,000
盛岡南公園	1:50,000
都南中央公園	1:50,000

景観形成機能のための緑（現況）



第2章 盛岡市の緑の現況

(1-4) 防災機能のための緑

① 自然災害を予防する緑

東部森林緑地は、保安林が多く存在し、水源かん養林として市域の保水力を高め、洪水などの防止機能を担っています。また、東西丘陵地のまとまった樹木の緑も、土砂流出や斜面崩壊などの災害を防止する役割を担っています。

保安林などの緑	東部森林緑地，東西丘陵地
---------	--------------

② 人為災害を防止する緑

市街地を貫流する河川の河川敷空間は、市街地火災時に延焼を防止する役割を果たす緑として貴重です。同じく身近な公園や緑化された広幅員道路は、火災時に延焼を防止する緑として機能しますが、特に既成市街地や中心市街地においては不足しているのが現状です。

市街地を流れる河川など	北上川，中津川，雫石川，築川，松川，高松ノ池
市街地における身近な公園など	住区基幹公園（地区公園，近隣公園，街区公園），都市緑地，グリーンプロット，広場
緑化された広幅員道路	みたけ緑道，街路樹のある広幅員道路

③ 避難場所として機能する緑

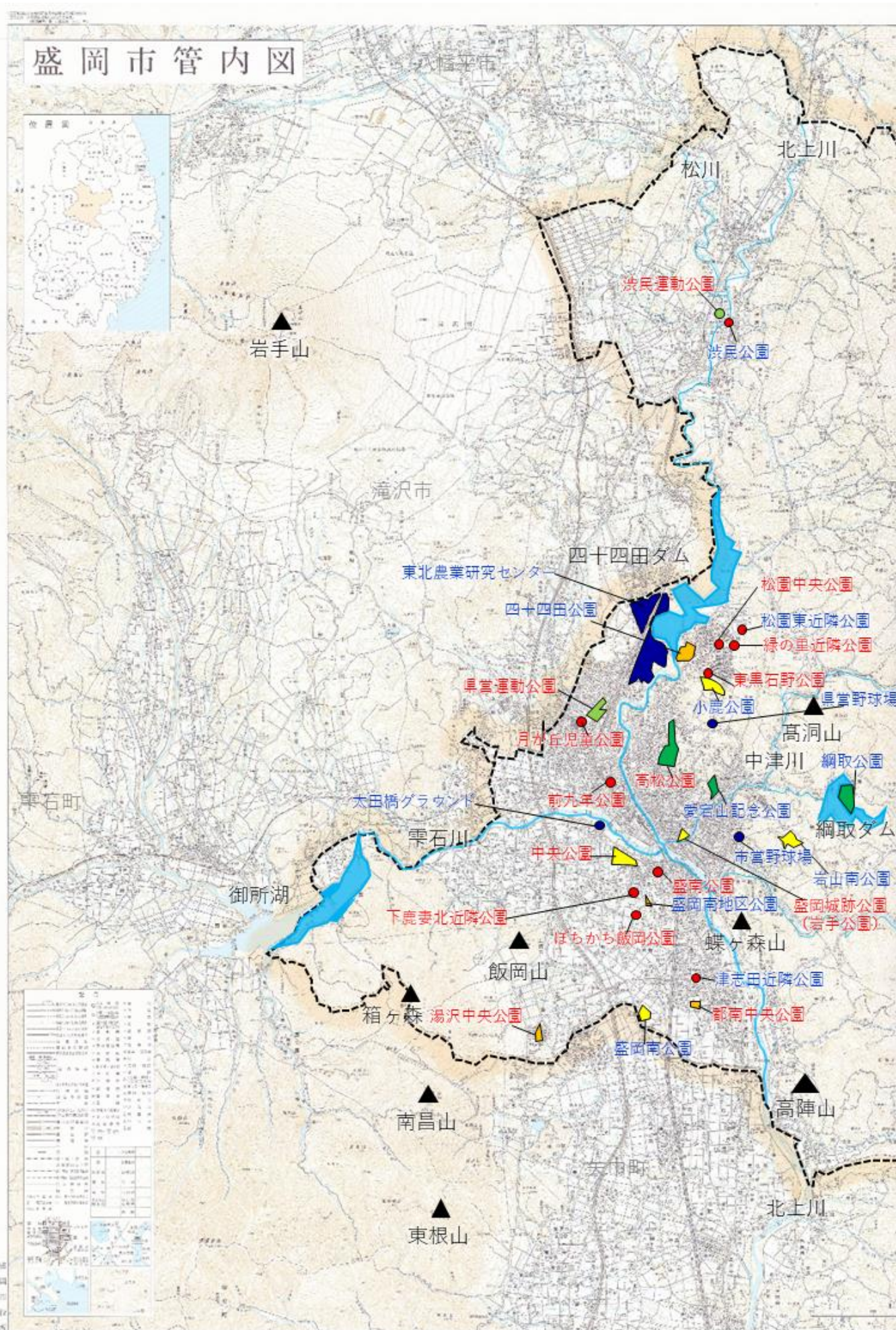
自然災害や人為災害が発生した場合、公園や緑地などのオープンスペースは、避難場所としての機能を担っています。「盛岡市地域防災計画」では、市街地内の一部の公園が指定緊急避難場所として指定されています。また、市街地内の公園や緑地は、身近な避難場所として機能する役割を担っています。

指定緊急避難場所として機能する公園	盛岡城跡公園（岩手公園）、高松公園、 東黒石野公園、松園中央公園、緑の里近隣公園、 前九年公園、県営運動公園、月が丘児童公園、 盛南公園、中央公園、都南中央公園、 下鹿妻北近隣公園、ぽちかち飯岡公園、 湯沢中央公園、渋民運動公園、
身近な避難場所として機能する公園など	住区基幹公園（地区公園、近隣公園、街区公園、 幼児公園）、都市緑地、広場

④ 災害復旧の役割を担う緑

「盛岡市地域防災計画」では、災害発生後の復旧拠点として、大規模な公園や河川敷などを臨時ヘリポートとして指定しているほか、支援物資などの集積所として東北農業試験センターと渋民運動公園を位置付けています。また、市街地内の公園や緑地は、地域の復旧拠点として機能する役割も担っています。

災害復旧の拠点となる公園など	高松公園、県営運動公園、太田橋グラウンド、 中央公園、盛岡南公園、北上川河川敷、 渋民運動公園など
支援物資の集積所として災害復旧の拠点となる公園など	東北農業研究センター、渋民運動公園
地域の復旧拠点として機能する公園など	住区基幹公園（地区公園、近隣公園、街区公園）、 都市緑地、広場



防災機能のための緑（現況）

